

観ても、聴いても、歌っても楽しいバーバーショッフ

サウンスオブ横浜 夏コンサート Sounds of Yokohama Summer Concert

2025 年7月31日(木)

開演 13時30分 (開場 12時30分、終演予定15時30分)

場所 かなっくホール 横浜市神奈川区民文化センター
(JR東神奈川駅、京急東神奈川駅 直結)

Director: 草井 章



入場無料。

プログラム、チケットはありません。

本チラシを演奏会にご持参ください。



Sounds of Yokohama

Sounds of Yokohama (SOY) は2010年から横浜でバーバーショッフを歌い続けています。メンバーのコーラスのキャリアは幅広く、学生時代から歌っている人から、ここが初めての人までさまざまです。**「バーバーショッフは、『本当に楽しい』**、とメンバーは日々実感して活動しています。

ゲスト : Aoyama Harmony Chorus



Aoyama Harmony Chorus (AHC) は女声4部のアカペラ・バーバーショッフスタイルで、世界各地のシスターコーラスと共通の楽譜をもとに英語で歌っています。

昨年のジョイントコンサートに続き、今年もご一緒の舞台に立つ機会を頂き、皆張り切って練習をしています。美しいハーモニーが響きますように！

SOYのカルテット： 音璃い、他



かなっくホール

SOYは仲間を募集しています。

練習は 月2回。土曜日10時～13時
横浜市立豊岡小学校音楽室 (JR 鶴見駅徒歩7分) ほか
お問い合わせは soundsofhamma@gmail.com まで

演奏予定曲

第1部:

SOY:

Let a Smile Be Your Umbrella

「微笑みが君を守るよ」。SOYサウンドに乗せて幕開けを飾る我らがテーマソング。

Georgia on My Mind

ポピュラーの定番「わが心のジョージア」。州の歌となった。

When I Lift Up My Head

「上を向いてゆこう」と元気づける、ゴスペルの名曲。

What a Wonderful World

「この素晴らしき世界」。ルイ・アームストロングの代表曲。

I've Been Workin' on the Railroad

本来は線路工夫達の苦しい労働歌。日本の歌では「線路は続くよどこまでも」。

カルテット - 音璃い、他

Tennessee Waltz

ダンスパーティーで旧友に恋人を盗られてしまった。苦い思い出のメロディー。

In the Still of the Nite

夜の静けさの中で、力いっぱい抱きしめてほしい、と歌う。

他、数曲

SOY:

Home on the Range

米国中西部の平原を歌う民謡。日本の歌は「峠の我が家」。カンザス州の州歌。

Coney Island Baby

避暑地で出会った彼女との縁切りを歌うコミカルなソング。バーバーショッフの定番。

Whispering

「そばに寄り添いささやく」、1920年代のジャズ。

Bad Buncha Boys

悪ガキがガヤガヤ集まってバーバーショッフを歌うぜ。。。夜露死苦！

----- 中休み -----

第2部:

ゲスト - AHC:

Take Me Home, Country Roads

ジョン・テンバーの1971年の曲、70年代オリビア・ニュートン・ジョンのカバー曲も大人気に。

Love's Old Sweet Song

夕暮れの薄明りの中で、せつない恋心を歌うロマンティックな曲。

Mister Sandman

Sandmanは「眠りの精」のこと、最近では某洋酒メーカーのコマーシャルにこのメロディーが。

Aloha 'Oe

ハワイ王国第8代女王リリウオカラニによって作られたハワイの代表曲。再会を祈る別れの曲。

Chattanooga Choo Choo

シンシナティ発チャタヌーガ行き列車、駅の靴磨きと乗客との軽快なやり取りが始まります。

How We Sang Today

AHCが所属する国際コーラス団体Sweet Adelines Internationalのモットーソングの一つ。

SOY:

Wait Till the Sun Shines, Nellie - カルテット「Zenza Boys」

ピクニックは雨で中止。女性を優しく慰めるバーバーショッフの定番。

Dream

NHKサラメシ「あの人が愛した屋メシ」のBGM。「憂鬱なときは夢を見てね」と歌う。

Swing Down Chariot

ゴスペルの名曲。チャンスでスタジアムをゆるがすイングランドラグビーの応援歌。

Somewhere Over the Rainbow

「虹の彼方に」。1939年アカデミー賞映画「オズの魔法使い」より。

Hello Mary Lou

60年代のロック。バーバーショッフ愛好家はだれでも歌う。